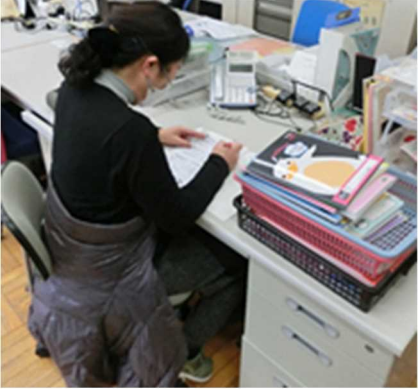


<別紙> 情報提供様式

事例名	
教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)との協働	
学校名	
米原市立山東小学校	連絡先 0749-55-1072
取組分野(複数選択可)	
☒ 教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)の効果的な活用事例 ☒ 外部人材の活用(スクールロイヤー・民間人材の活用等、コミュニティ・スクール、地域学校協働本部、地域ボランティア等含む)に関する取組	
直面していた課題(取組前の様子)	
・全学年が単級であるため、学年のすべての業務を1人で行う必要があり、担任の負担感が大きかった。 ・特に若手教員は経験が少ないため、授業準備や事務処理等に追われ、子どもと触れ合う余裕がもてなかった。 ・子どもは、6年間学級のメンバーがほぼ変わらないため、人間関係が固定化しがちで、いったん生徒指導上のトラブルが起きると互いの家庭も巻き込んで複雑化するケースも見られた。	
在校等時間の縮減に向けた具体的な取組内容	参考となる写真や資料を添付
・教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)に、プリント等の印刷や、宿題の確認、採点補助、季節に応じた校内掲示物の製作や貼り替え等を依頼し、担任が時間や気持ちの余裕をもって子どもと接することができるようにする。 <u>取組のポイント</u> ・教員業務支援員は教職経験のある方に依頼し、宿題の確認や小テストの採点補助等を確実にしていただく。 ・教員業務支援員と管理職、担任等の連携を密にし、細かなことでも気づいたことは情報共有をしていただく。	・朝、各教室を回り、宿題や小テスト等の回収を行う。宿題の確認や、採点補助等を職員室で行う。 
取組の成果	
・年間400時間を2人の教員業務支援員が分担している。教員業務支援員の勤務日は、担任の負担軽減、超過勤務の縮小に繋がっている。 ・休み時間は、授業準備や宿題の確認、採点等に追われることが多いが、教員業務支援員の勤務日は子どもと一緒に休み時間を過ごす担任も増えるため、結果的に生徒指導上のトラブルを減らす効果があったと思われる。 ・季節に応じた掲示物は生活に潤いを与えている。子どもや教職員にとって新鮮さや温もりのある学校生活になった。	・季節に応じた掲示物を製作し、昇降口の壁に掲示している。本校の創立150周年記念マスコットである「かがやきっ子ホタル」も教員業務支援員の手作りである。 
<u>成果のポイント</u> ・教員業務支援員が学校運営協議会の委員を兼ねているため、学校の方針や教育活動に理解があり、他の教職員や子どもとの関係が大変良好であることも大きな成果に繋がっている。	